



地域経済の振興とまちづくりに全力

がんばります

原田 完です

日本共産党 京都府委員会 <https://www.jcp-kyoto.jp>

私は原田府会議員に期待します

京都府商工団体連合会事務局長 池田 靖

民主商工会の全国組織である全国商工団体連合会は、1951年8月3日に、この京都の地で創設され、今年創立70周年を迎えました。11月14日には、東京で創立70周年記念集会在開かれ、日本共産党からは志位和夫委員長が出席され、心のこもった連帯のあいさつを受けました。

原田完日本共産党府会議員団長は、皆様ご存じの通り、府会議員になる前は民主商工会の事務局長として活動されてこられました。業者の相談は、その存在のとおり多種多様です。

民商事務局長にはその相談に応えるために常に新しくて広い知識が求められます。また、「困ったときには力になる」という姿勢が何よりも大切です。

激動する政治と経済の中で、業者からは常に新しい問題・相談が持ち込まれます。「時短営業の要請にどうこたえたらいいの?」「給付金申請は?」などコロナ禍での中小業者相談はまさに経験したことがない新しい事態であり、行政の対応自体を切り開くことも求められました。

こうしたとき、原田議員は民商事務局長の先輩として、また府議団長として何か事が起これば相談できる本当に頼りになる存在です。民商と共産党の前進のため「困ったときは原田完」とこれからもよろしくお願ひします。



11月議会、最終版にバタバタした混乱 議事に理事者が虚偽の報告

12月13日から15日常任委員会が行われ、文教委員会の質疑の中で、北山エリアの関係資料がホームページから不当に削除されていることが明らかとなりました。

この問題は光永議員が代表質問でも厳しく追及した、府立大学の体育館を老朽化を理由に、学生のための施設のほが、プロバスケのホーム、コンサート等のイベントホールにして、指定管理で大学の教育施設とは思えない1万人

でもあり、入札課にきびしく指摘をする」と、入札課から現課に間違いの指摘と訂正指

私から「契約に関わる問題」を招く恐れ」と12月8日に突如削除の暴挙が行われまし

謝罪と大問題になりました。北山エリア開発計画問題は「植物園の縮小」と、とんで

最初の、契約が済んだから消したと全く非を認めず、厳しい指摘にも訂正と詫びで済

まそうとしましたが、委員会での発言は全議員への虚偽の報告であり、許されない行為である事の重大性から本来呼

導で、本来出席予定のない委員会に出席し冒頭で陳謝と掲載復元が行われました。



おすすめ記事 日刊紙 (12月17日付)

こちら経済部 民主主義の底力

現代社会に新しい「封建制」が出現したといわれています。多くは顧客を囲い込んだ有力な領主(企業)が独自の法(規約)をつくり、独自に年貢(手数料)を取り立て、独自の刑罰(罰金や罰則)を科しています。

デジタル技術を駆使したIT(情報技術)企業がトップに君臨することから、「デジタル封建制」と呼ばれます。インター

ネット通販サイト「楽天市場」を運営する楽天は典型的です。自社を有利にする規約変更を繰り返して、出店者から利益を吸い上げてきました。

しかし出店者たちは黙っていませんでした。「楽天ユニオン」を結成して世論に訴え、「送料無料」の強制を押し返しました。公正取引委員会は、楽天が優越的地位を乱用し、不正取引法に違反してしまっているとの見解を示した。楽天市場内では、出店者の力に勝つことが出来ず、民力を見失った。(杉本)



もない問題を内包しており、多くの府民や学識者、元植物園の園長や副園長からも意見があり、強い反対運動が広範な方々の声、10万を超える署名が寄せられ府民的運動となつていきます。

自民党議員の衆議院選挙での選挙違反起訴で辞職

欠員補充にまた与党会派内で役職たらいまわし!

北区選出の岸本議員が先の衆議院選挙で選挙違反行為に基づき京都府警から書類送検され、議会中に議員辞職しました。選挙違反行為は民主主義を冒瀆する行為であり、しかも現職議員が送検されるなどともない行為です。

自民党は離党申請でその責任逃れの対応で、その経緯も何も明らかにしないまま辞職となりました。

自民党は離党申請でその責任逃れの対応で、その経緯も何も明らかにしないまま辞職となりました。

自民党は離党申請でその責任逃れの対応で、その経緯も何も明らかにしないまま辞職となりました。

「誤解を招く恐れ」との本質は何を隠そうとしたのか、だれの指示で実行された

しかも、岸本氏は自民党派の特別委員長で委員会運営に携わってきたました。逮捕辞職で委員長席が空席

